

追加型投信／内外／株式

運用実績

基準価額	11,568円	前月末比	▲92円	純資産総額	28.00億円
------	---------	------	------	-------	---------

※基準価額は信託報酬控除後の値です。

ファンド設定日：2025年9月17日

基準価額等の推移



※基準価額及び税引前分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の値です。
※税引前分配金再投資基準価額は、本ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。当ファンドの設定日前日を10,000として指数化しています。

資産構成

ファンド	比率
SBI 次世代テクノロジー戦略マザーファンド	100.5%
現金等	-0.5%
マザーファンド	比率
国内株式	8.7%
外国株式	84.0%
現金等	7.3%

※比率は純資産総額に対する割合です。
※現金等には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

期間収益率

設定来	1 カ月	3 カ月	6 カ月	1 年	3 年	5 年
15.68%	-0.79%	-13.77%	5.66%	—	—	—

※期間収益率は、本ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。

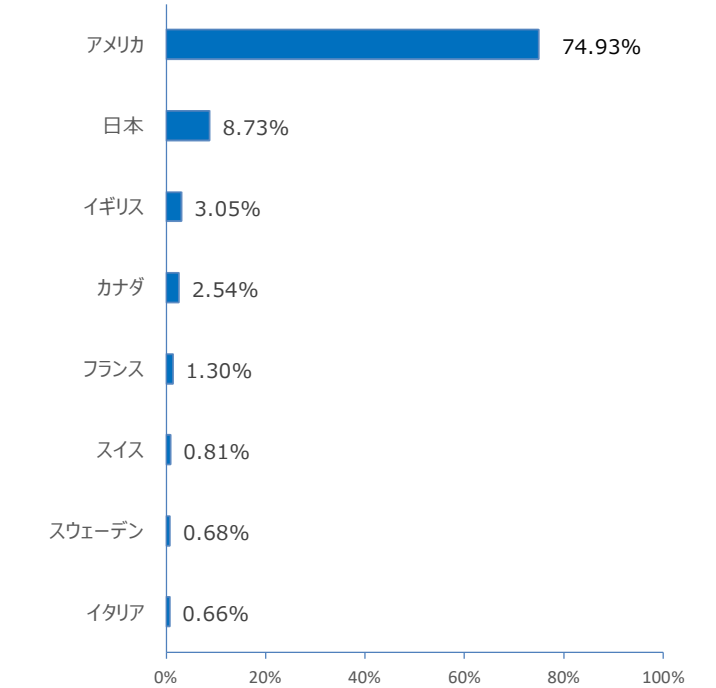
収益分配金（税引前）推移

決算期	—	—	—	—	—	設定来累計
決算日	—	—	—	—	—	
分配金	—	—	—	—	—	0円

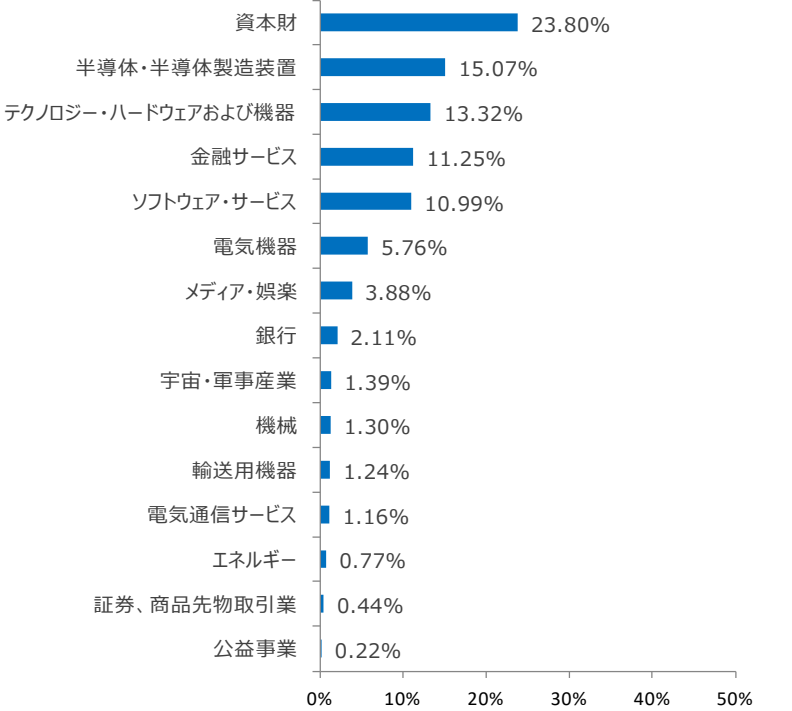
※収益分配金は1万口当たりの金額です。
※分配金は過去の実績であり、将来の分配金の水準を示唆・保証するものではありません。

マザーファンドの資産状況

組入国・地域



組入業種



※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

組入上位10銘柄

組入上位10銘柄			
銘柄名	国・地域	業種	比率
1 MICRON TECHNOLOGY IN	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.25%
2 LAM RESEARCH CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.09%
3 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	3.88%
4 FORMFACTOR INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.85%
5 INTERACTIVE BROKERS	アメリカ	金融サービス	3.56%
6 APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.42%
7 COHERENT CORP	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.99%
8 GENERAL ELECTRIC	アメリカ	資本財	2.83%
9 LOCKHEED MARTIN CORP	アメリカ	資本財	2.55%
10 ATKINSREALIS GROUP I	カナダ	資本財	2.54%

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

組入銘柄数：70銘柄

当月の市場動向及び今後の運用方針

当月の市場動向

8月のグローバル株式市場では、インフレ鈍化や底堅い企業業績を背景に主要株価指数が史上最高値圏で推移しました。次世代テクノロジー関連では、AI投資拡大を背景とする半導体・デジタルインフラ需要が引き続き市場の中心テーマとなったほか、量子技術や宇宙関連分野への投資拡大も注目されました。一方で、月後半には長期金利上昇への懸念から、一部で利益確定売りも見られ、テーマ内でも銘柄選別色の強い展開となりました。

上旬は、米国のインフレ指標鈍化やAI関連企業の好決算を受けてリスク選好姿勢が強まりました。Web3・AI分野では半導体やデータセンター関連企業が買われたほか、量子技術分野でも量子コンピューティングの商用化期待が継続しました。Newエネルギー分野では原油価格低下によるインフレ緩和期待から再生可能エネルギー関連銘柄への資金流入がみられ、宇宙関連やロボット関連銘柄も良好な投資家心理を背景に堅調に推移しました。

中旬は、主要企業の決算発表が一巡する中、成長性の高いテーマへの選別投資が続きました。AI分野では大規模な設備投資計画が確認され、半導体製造装置やAIインフラ関連企業への期待が高まりました。量子技術分野では研究開発投資の拡大が引き続き材料視されました。一方、宇宙関連やロボット関連では個別企業の業績動向に応じた銘柄選別が進み、市場全体としてはテーマごとの強弱感がみられました。

下旬は、米国長期金利が約20年ぶりの高水準まで上昇したことから、AI関連を中心とする高成長株に利益確定売りが広がりました。一方で、AI向け設備投資需要そのものは依然として力強く、中長期的な成長期待は維持されました。Newエネルギー分野ではエネルギー安全保障への関心が高まり、関連銘柄が底堅く推移しました。また、各国政府による防衛・宇宙開発支出拡大を背景に宇宙関連分野への資金流入も継続しました。ロボット関連についても製造業の自動化需要を背景に堅調な業績期待が維持されました。

ファンドの運用状況

AI関連、光通信関連、暗号資産関連株が物色されました。業績好調などもあり、AI・インフラ、AIデータセンター関連銘柄のルメンタム・ホールディングス、コヒレントなどが買われました。さらに、業績好調、暗号資産関連銘柄の物色にロビンフッド・マーケティングが買われ、これらの銘柄のパフォーマンスへのプラス寄与が大きくなりました。一方、足元の業績悪化にHUT8、サプライチェーン問題による売上の低下見通しなどからハネウェル・エアロスペース、高成長期待に応えられなかったペイセーフ、などのパフォーマンスへのマイナス寄与が大きくなりました。

テーマ別では、おおむね、Web3・AI、Newエネルギーが比較的強く、宇宙関連等はやや弱含み、全体としてはほぼ横ばいとなりました。

テーマへの関連性、成長性や株価動向等勘案して、ポートフォリオを管理しました。

今後の運用方針

トランプ政権の「関税」について、複数の通商法性を組み合わせて保護主義的な政策が続けられています。関税率は歴史的に見て高水準な状態が続き、制裁対象で高関税でもある中国から他の新興国等への生産拠点の分散傾向が続くと予想されます。景気、企業業績、金利等の要因とともに相場の材料として定番化しており、長期化が予想されます。関税の影響は、企業の価格転嫁、売上の変化等個別要因が大きく、企業の業績見通しを織り込むプロセスが続くと考えられます。貿易以外の分野への間接的な影響も、具体的な影響度を測るには時間を要すると考えられます。欧州中央銀行（ECB）の金融政策動向、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融政策動向も米関税政策の影響を見極めながら進められると予想されますので、不確実性、複雑性が高まり、先行き見通しの不透明感が長期にわたり継続する可能性が高まった状況が続いております。また、ウクライナ情勢、欧州連合（EU）主要国の財政支出拡大、中国の景気動向に加えて米国、イスラエルとイランの紛争なども材料として注目されております。地政学リスクもトランプ政権の行動を受けさらに高まっております。こうした様々な材料を注視してまいりたいと考えております。米中関係の緊張に加えてイランでの紛争の行方も原油価格上昇、サプライショックなどから長期化するほど景気後退リスク、インフレ、金利上昇リスクが高まりますので、注視しております。景気動向、金利動向への不透明感が高まっており、物色動向の変化が大きくなっております。需要拡大への期待から大きく上昇していたAI関連株上昇に変調が見られ、市場の変動性が高まっており行方を注視しております。

私どもは、引き続き、次世代テクノロジー関連企業の中から、テーマ別に関連性の高い企業を選定し投資してまいります。

※現在のテーマ：Web3・AI、量子技術、Newエネルギー、宇宙関連、ロボット関連

追加型投信／内外／株式

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

実質的に世界の株式等に投資し、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。

ファンドの特色

- ① S B I 次世代テクノロジー戦略マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります。）を主要投資対象とします。
- ② マザーファンドによる株式等[※]への投資にあたっては、次世代テクノロジー関連企業の中から、テーマ別に関連性の高い企業を選定します。
[※]株式等には、上場投資信託証券を含みます。
- ③ 実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。

投資リスク

基準価額の変動要因

本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産には為替リスクもあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の主な変動要因としては以下のものがあります。なお、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。

主な変動要因

価格変動リスク	一般に株価は政治・経済情勢や発行企業の業績等の影響を受け変動しますので、組入れる株式の価格が変動し、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。
為替変動リスク	為替レートは、各国・地域の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。
信用リスク	組入れる金融商品等の発行体が経営不安や倒産等に陥った場合に資金回収ができなくなるリスクや、それが予想される場合にその金融商品等の価格下落で損失を被る可能性があります。また、金融商品等の取引相手方にデフォルト（債務不履行）が生じた場合等、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。
流動性リスク	組入れる金融商品等の市場規模が小さく取引量が限られる場合などには、機動的に売買できない可能性があります。また、保有する金融商品等が期待された価格で処分できず、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。
カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、又はそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

その他の留意点

- 本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 本ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待される価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- 有価証券の貸付取引等を行う場合には、取引先リスク（取引の相手方（レンディング・エージェントを含みます。）の倒産等により契約が不履行になる等）が生じる場合があります。
- 投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- 実質的な投資対象地域の法令、税制、会計制度およびそれらの変更によって、本ファンドの受益者が不利益を被るリスクがあります。
- 本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。当該運用方式には運用の効率性等の利点がありますが、投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動に伴う売買等が生じ、マザーファンドの組入る有価証券に売買等が生じた場合等には、本ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。

リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのパフォーマンスの分析及び運用リスクの管理をリスク管理関連の各種委員会を設けて行っています。流動性リスクの管理においては、委託会社が規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

追加型投信／内外／株式

お申込みメモ

購入単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からのお支払いとなります。
信託期間	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、委託会社が指定する日のいずれかの休業日にあたる場合には、購入・換金（解約）の受付を行いません。
申込締切時間	原則として、午後3時までとします。なお、受付時間を過ぎてからの申込みは翌営業日の受付分として取扱います。 ※受付時間は販売会社によって異なることありますのでご注意ください。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口解約には制限を設ける場合があります。
購入・換金 申込受付の中止 及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金（解約）の申込の受付を中止すること及び既に受付けた購入・換金（解約）の申込の受付を取消す場合があります。
信託期間	無期限（設定日：2025年9月17日（水））
繰上償還	次の場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。 ・信託財産の純資産総額が10億円を下回ることとなった場合 ・ファンドを償還させることが受益者のために有利であると認めるとき ・その他やむを得ない事情が発生したとき
決算日	原則として、9月16日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年1回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※販売会社によっては、分配金の再投資コースを設けています。詳しくは販売会社までお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は、有価証券届出書提出日現在のものです。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。税金の取り扱いの詳細については、税務専門家にご確認されることをお勧めします。

追加型投信／内外／株式

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 （信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に年0.99%（税抜：年0.90%）を乗じて得た額とします。信託報酬は毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日（休業日の場合、翌営業日）及び毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。 信託報酬＝運用期間中の基準価額×信託報酬率 （有価証券の貸付の指図を行った場合） 有価証券の貸付の指図を行った場合には品貸料がファンドの収益として計上されます。 その収益の一部を委託会社と受託会社が受け取ります。 この場合、ファンドの品貸料およびマザーファンドの品貸料のうちファンドに属するとみなした額の55.0%（税抜50.0%）以内の額が上記の運用管理費用（信託報酬）に追加されます。 ※上記各支払先への配分には、別途消費税等相当額がかかります。
その他の費用 及び手数料	信託財産にかかる監査報酬、信託事務の処理に要する諸費用、法定書類（目論見書、運用報告書等）の作成・印刷・交付にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管に要する費用等の費用は、原則として受益者の負担とし、信託財産中から支払われます。

投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社、その他関係法人

委託会社	S B I アセットマネジメント株式会社（信託財産の運用指図、投資信託説明書（目論見書）及び運用報告書の作成等を行います。） 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号 加入協会/一般社団法人 資産運用業協会
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社（ファンド財産の保管・管理等を行います。）
販売会社	※最終頁をご参照ください。（受益権の募集・販売の取扱い、及びこれらに付随する業務を行います。）

販売会社一覧

[illegible]

■販売会社では、受益権の募集・販売の取扱いおよびこれらに付随する業務を行います。

※1 株式会社SBI証券は上記協会のほか、日本商品先物取引協会および一般社団法人日本暗号資産等取引業協会にも加入しております。

※2 マネックス証券株式会社は上記協会のほか、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会にも加入しております。

本資料のご留意点

○本資料は、S B I アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料で、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○本資料は、S B I アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○当ファンドをお申込みの際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。